

「人間らしい雇用」実現のための 職場における人の学びや成長に つながる仕組みに関する研究

研究員 鈴木克明（教養教育部会）

客員研究員 石田百合子・岡本華枝



本研究は、職場における人の学びや成長につながる仕組みに関する調査並びに提案を行うことを目的としたものであり、SDGs が掲げるゴール 8「人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）」の実現を目指した取り組みであった。

これまで様々な職場における人材育成の好事例を調査し、教育工学的見地から整理することを試みてきた実績をもとに、またとりわけ、「できる」人材が育つ／育てる仕組みの構築をテーマにして医療系専門職種における職能開発の実態調査や開発研究に取り組んできたことや、キャリアコンサルタントの職能の一つとして教育力を取り上げ、IT 系企業における人材育成担当者のキャリア開発の実態も調べてきた研究を拡張した。働きがいのある人間らしい雇用とは何か、またそれを実現するための仕組みはどのようなものかを探索的に調べて、提案をまとめた。

多様な職場におけるキャリア開発の実態を踏まえ、「人間らしい雇用」を職

場に仕組みとして実現するための提案を教育工学的見地からまとめたことが本研究の特徴である。

労働生産性が低い我が国において領域横断的な研究知見を提案し、それを実現するための仕組みを模索することで、学術的な意義に加えて、しあわせをカタチにする社会的な意義もある成果を蓄積した。これまでにバラバラに行ってきた人材育成の仕組みづくりについての成果を「人間らしい雇用」という観点から整理することができた。鈴木は担当科目において研究成果を反映した教育実践について学会で報告した。共同研究者の石田はキャリアコンサルタントの専門性を活かし、人材育成担当者のインタビュー調査を担当し、岡本は看護師・看護教員としての経験を活かして医療系の知見をまとめて、それぞれ学会発表を行った。

参考文献

- 鈴木克明（2024. 3. 2）大学入門教育における主体性に委ねる授業の試み，日本教育工学会 2024 年春季全国大会（熊本大学）
- 石田百合子，宮下太陽，新目真紀，鈴木克明（2024. 3. 2）国の施策等にもみるリスティングと人的資本経営との関係，日本教育工学会 2024 年春季全国大会（熊本大学）
- 岡本華枝（2024. 3. 8）GBS 理論を用いた周手術期看護をイメージさせるための教材設計，第 16 回日本医療教授システム学会総会・学術集会（武蔵野大学）